

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教 科	国語（書写）
-----	--------

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
東 書	2	書写 002-72	新編 新しい書写 一・二・三年	・書写活用ブックがとりはずしできない。 ・表紙の裏の「見開きの文字を書くって何だろう」では、手書きの文字の良さをあらためて考える機会になる。 ・P37の「篆刻の作り方」の説明がとても詳しく、生徒は興味を持ちやすい。 ・P101～103「書の古典」は、芸術に触れる意味で、資料が大きく見やすい。また、書風などの特徴もよくわかる。 ・P72～75「身のまわりの文字と工夫」では、校舎や店の看板など身近な文字を考えるきっかけとなる。 ・P80、81「自分のノートを見直す」では、一番身近な手書き文字についてあらためて考えることができる。 ・基本の点画も書き方のページでは、「とんすう ぴたっ」と音で表現し、感覚的にわかりやすい。 ・字のバランスや筆の流れが分かりやすいように工夫されている。 ・手本が、点画の押さえを朱書きの濃淡で表しているため、わかりやすい。 ・二次元コードの内容がややわかりにくい。 ・行書の筆の運びがわかりやすく示されている。 ・書写テストがあり、作品以外でも評価の材料にできる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
三省堂	1 5	書写 015-72	現代の書写一・二・三	・机の上に置いて書くのには適切な分量、大きさである。 ・P86「書の古典」は、発展内容であるが、臨書の説明があり、書道の導入として興味を持ちやすい。 ・先人の書を同じ字で見比べることで、書き手の個性がよく理解できる。 ・P52、53「都道府県 鉛筆なぞり書き」は、名産物と地図の資料もあり、社会科と関連付けて学習することができるなど教科横断的な視点が設けられている。 ・P84、85「文房四宝の作り方」があり、書道道具を作る過程がよくわかる。 ・国語の教科書に対応した文章の引用が多く、各学年末のP44「やってみよう」では、同社の国語教科書の学年末教材と同じ活動を取り上げている。 ・手本が、点画の押さえを朱書きの濃淡で表しているため、わかりやすい。 ・解説動画が多く、生徒にとって視覚的に理解しやすい内容である。 ・二次元コード一覧表があり、内容がわかりやすい。 ・左利きの学習者にも対応している解説動画や補助教材等のデジタルコンテンツがあり、多様性への配慮がなされている。 ・各教材で学習すべき内容が一目で分かるように、「書き方を学ぼう」のコーナーを設け、書き方のポイントが示されている。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
教 出	1 7	書写 017-72	中学書写	・写真が大きく、多く、生徒の興味をひきやすい。 ・P14、15「ノートを効果的に書こう」が教科書の最初にあり、導入として効果がある。 ・P24、25「文房四宝の作り方」は丁寧に説明されており、わかりやすい。 ・P94「書の古典の鑑賞」は発展内容であるが、同じ文字を比べることで、違いがわかりやすい。 ・P8に左ききの生徒のための書道道具の配置があり、多様性に配慮している。 ・P36、37の「文字の変遷」は写真も大きく、わかりやすい。 ・P100、101「多様な文字による表現」では、お菓子の包み紙や看板、提灯など身の回りにある文字を紹介しており、生徒は毛筆の文字を身近に感じられる。 ・P88、89の「日本建築と書」は発展内容であるが、掛軸や屏風など身近に飾ってある書の資料が大きく掲載されており、興味を持ちやすい。 ・教科書の横幅が広いと、机の上に置いて活動する際は配慮が必要である。 ・目次に、どの学年で何に取り組むかを明記されている。 ・「まなびリンク」でICT機器が活用できる。 ・手本が、点画の押さえを朱書きの濃淡で表しているため、わかりやすい。 ・行書の筆の運びがわかりやすい。 ・手紙、はがき、封筒以外に、エアメール、包み紙の書き方などが記載されており、日常生活に役立てることができる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教 科 書 の 記号・番号	教 科 書 名	調 査 結 果 の 概 要
光 村	3 8	書写 038-72	中学書写一・二・三年	・全体的にイラストや漫画が多い。特に、P48、49 はイラストが目立つ。生徒の理解に繋げるためには、補足資料や写真が必要である。 ・書写ブックとして、別冊になっているので活用しやすい。 ・P42、43 などの、手本の右横に、穂先の向きや筆圧が書いてあり、筆の運び方がわかりやすく、書きやすい。 ・P104、105「自分らしい文字」の資料は生徒が興味を持ちやすい。 ・右利きだけではなく、左利きのための動画や道具の配置についての掲載がある。 ・力の強さを３段階で表現しており、わかりやすい。 ・手本が、点画の押さえを朱書きの濃淡で表しているため、わかりやすい。 ・手本が１ページに１文字書かれていて、ほぼ実寸通りなので見やすい。 ・お手本の右に筆の運び方が赤で提示され、わかりやすい。 ・日常生活に役立てることができる、手紙やはがきの書き方だけでなく、送り状や入学願書の書き方なども学ぶことができる。 ・手本作成ソフトで手本を作ることができる。